

## インジェクションホルダーの疑問

インジェクションホルダーに付いているクリーニングロッドって知っていますか？

今回はインジェクションホルダーに関する疑問へお答えします。

### ◆◆ クリーニングロッド ◆◆

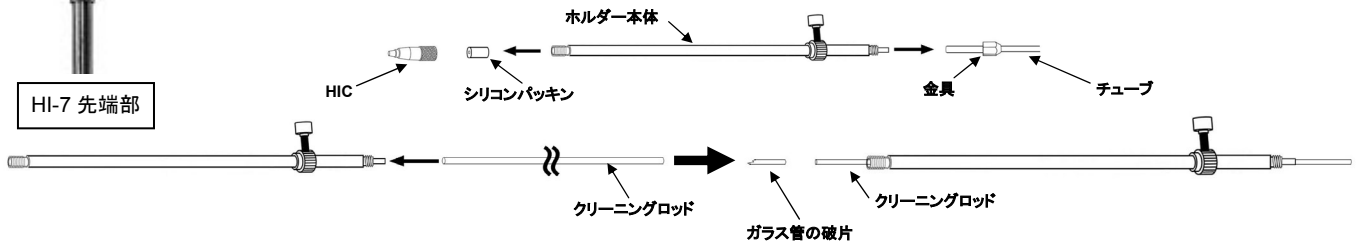
クリーニングロッド



HI-7 先端部

Q: インジェクションホルダー(HI-7)に取付られている金属棒は何？

A: 「クリーニングロッド」といいます。インジェクターで吸引、注入操作時の反応が悪い場合の一つの要因として、ホルダー内に割れたガラス管等のゴミが詰ってしまっている事があります。このような場合、インジェクションホルダーからガラス管/インジェクションホルダーキャップ(HIC)/シリコンパッキン/チューブを外し、クリーニングロッドをインジェクションホルダー後方から差し込み、ホルダー先端から詰まったゴミが出るまで差し込み、ゴミを取り除くのに使用します。



#### <ここでポイント 1>

【昨日まではインジェクターに異常なく使用できていたが、翌日になったら急激にインジェクターの調子が悪くなり使用できなくなりました。】という問題の7~8割が、インジェクションホルダー内に折れたガラス管やシリコンパッキンが詰まっている事が原因です。このような問題があった場合はまずガラス管等が詰まっていないか上記の方法で試して下さい。

### ◆◆ インジェクションホルダーキャップ ◆◆



インジェクションホルダー  
キャップ(HIC)

Q: インジェクターを持っている等で、HI-7はあるが、1mmのガラス管しか使用出来ない。1.2mmや1.5mmのガラス管を使用する場合はどうすればいい？

A: 1.2mm/1.5mm用のインジェクションホルダーキャップをご用意しています。1.2mm用の場合はHIC-1.2、1.5mm用の場合はHIC-1.5を購入して頂き、HI-7のインジェクションホルダーキャップ部を取外して、付け替えてください。

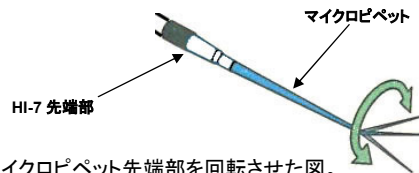
### ◆◆ HIR (回転メカ) ◆◆



HI-7 中心部

Q: HI-7に取り付いている金具はどういったもの？

A: インジェクションホルダー用の回転機構です。先端を曲げたマイクロピペットを使用する際、セットしたら先端が希望の方向に向いていない場合があります。その際、手でホルダー本体を持って回すよりも、容易に微調整が行えます。



【HIR】を用いて、マイクロピペット先端部を回転させた図。

#### <ここでポイント2>

HIRを利用して、一度ユニバーサルジョイントからマイクロピペットが取り付けいたインジェクションホルダーを取外し、再度インジェクションホルダーを取り付けた際に、容易にマイクロピペット先端部が元の位置付近にセット出来る、簡易型復帰機構になる裏技をご紹介します。

☆インジェクションホルダーを取外す前にHIRをユニバーサルジョイントと接触する位置まで移動させ固定します。

⇒元に戻す際は、インジェクションホルダーをユニバーサルジョイントにセット後、HIRがユニバーサルジョイントへ接触する位置までスライドさせます。すると元の位置付近まで戻りますので、容易にマイクロピペットを視野内に出すことが出来ます。

#### <注意！>

この裏技は、あくまでも、マイクロピペットを変えないという条件の元での裏技です。

ナリシゲカスタマーサポートセンター

TEL: (+81) 03-3308-8232

E-MAIL: [sales@narishige.co.jp](mailto:sales@narishige.co.jp)